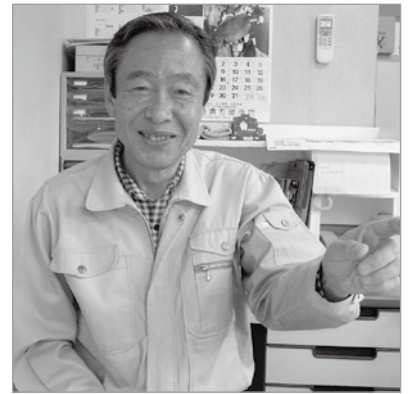
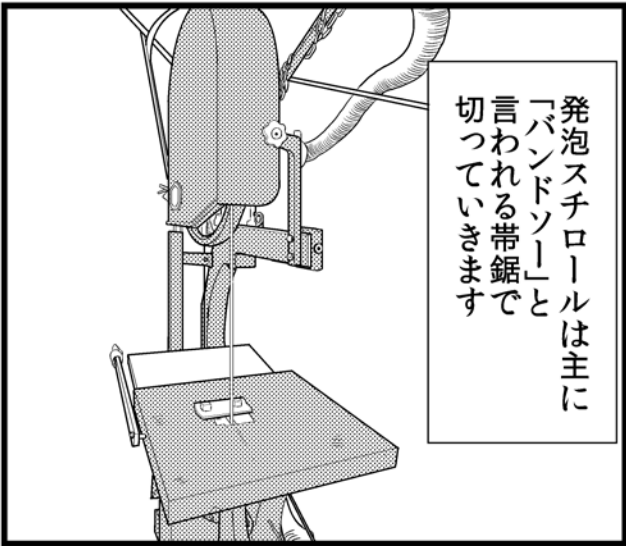


平成
14年度
認定

まえはら あきら
前原 昭 さん



工業製品の基盤となるのが「金型」。その「金型」を製作する際に用いられる「木型」を製作する、熟練工。



発泡スチロールは主に「バンドソー」と言われる帯鋸で切っています



木から発泡スチロールに変わったことで今まで一カ月かかっていた制作時間が一週間に

単価も木材より4分の1から5分の1で作れるようになったんだよ

木型工 前原 昭さん

おおく革命的！



カーブの強い円錐もするすると迷いなく削っていく様はまさに職人技！



できあがった木型は鑄造メーカーに運ばれて砂型をつくりそこに鋼を流し込んで部品をつくるんだけど……

鋼は冷めると大きさが縮んでしまう

だから木型の段階で鋼が縮むことを予想してつくっていかないとだ

砂型

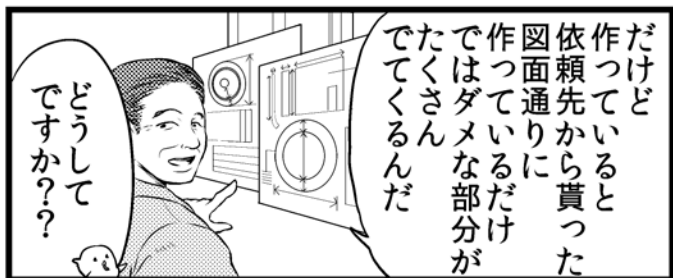
木型

鋼



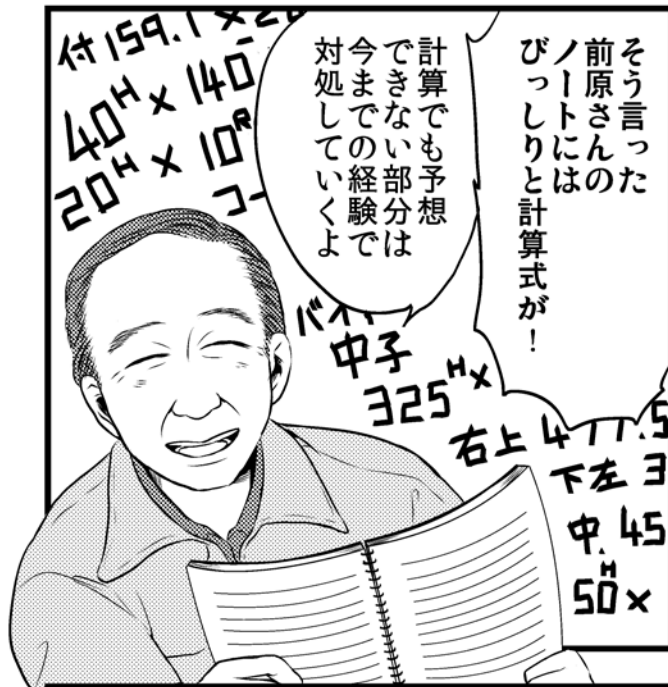
パーツを削ったら図面通りに特殊な接着剤で張り合わせ、型を完成させていくよ！

作業場にはいろんな機械の部品の形をした発泡スチロールがいっぱいあったよ！



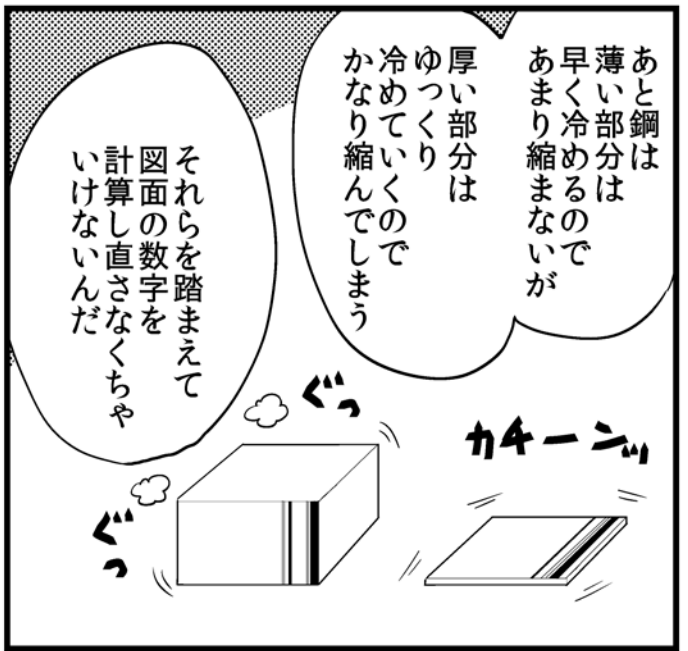
だけど作っていると依頼先から貰った図面通りに作っているだけではダメな部分がたくさんでくるんだ

どうしてですか？



計算でも予想
できない部分は
今までの経験で
対処していくよ

そう言った
前原さんの
ノートには
びっしりと計算式が！



あと鋼は
薄い部分は
早く冷めるので
あまり縮まないが
厚い部分は
ゆっくり
冷めていくので
かなり縮んでしまう

それらを踏まえて
図面の数字を
計算し直さなくちゃ
いけないんだ



難しいエンジンも
きっちり検査し続けた
前原さんは
35年間
ノミミスで納品し

ついに
メーカーから
「うちではもう
確認しない！」と
言われるほど
信頼を得たんだ！

すごいー！



やり直し!!

木型で間違えると
鋳造も間違える
さらに出来上がった
重い部品をメーカーに
運んでしまつて…

となると
すさまじい
損害になる

だから絶対に
間違つたものを
納品しないように
できた木型は
私が納得するまで
きっちり検査をするよ



長いこと木型工を
続けていて
あきたことは
一度もないそう

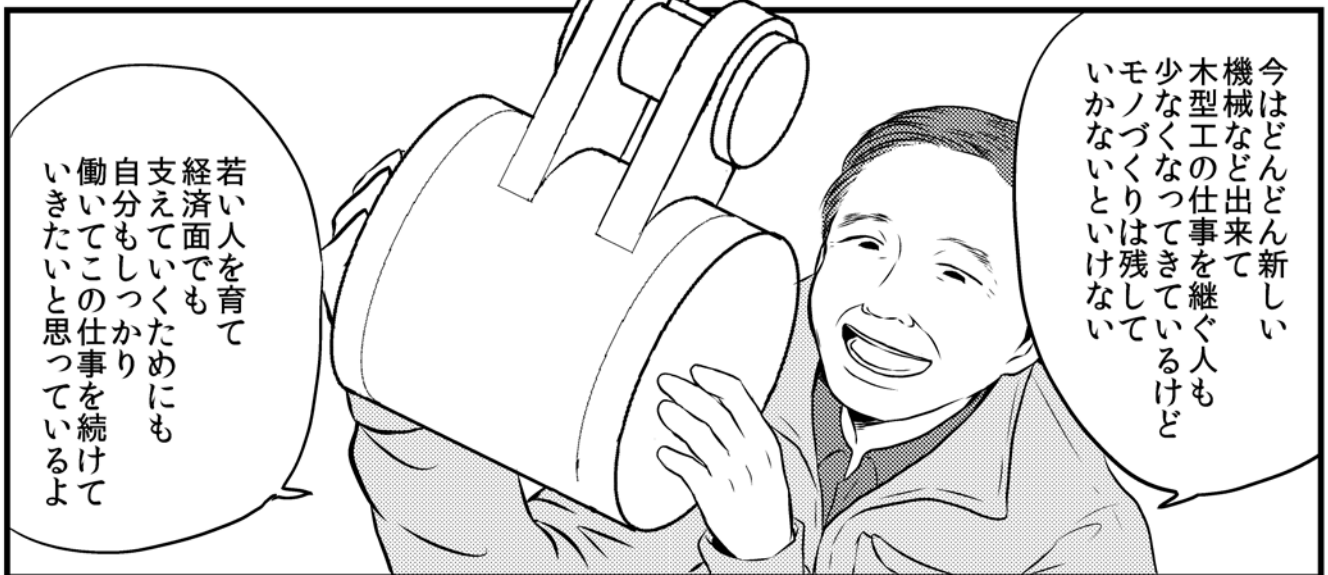
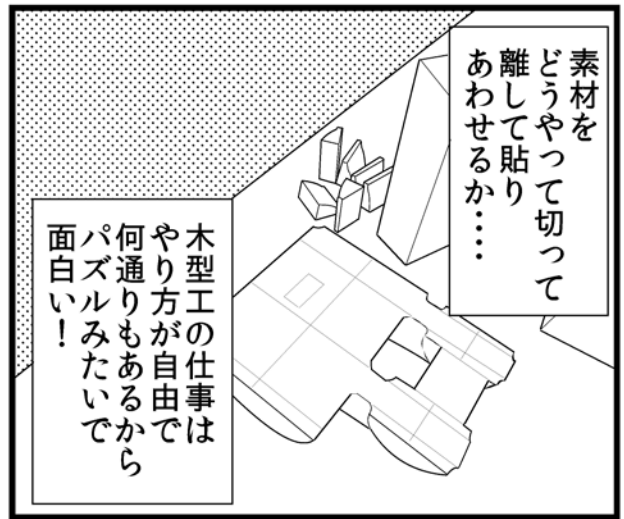
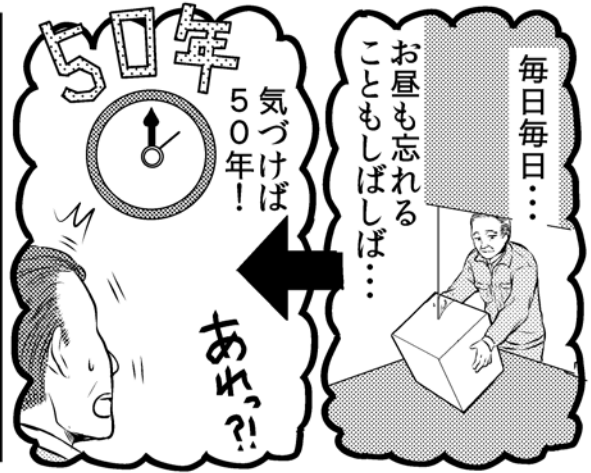
仕事を
している時が
一番楽しみ
なんだ！

一時期忙しすぎて
大変な時もあったけど
やっぱり期待されて
どんどん作つて
欲しいと言われると
職人冥利で闘争心が
湧くよ！



腕の良くない
職人は重要でない
部分に作業の
時間をかけて
しまうそうです

いい職人は
前原さんのように
どこに時間を
かけるかが的確に
判断できるような
なるのです



有限会社前原機型製作所

素材は「木」から「発泡スチロール」に替わりましたが、大型エンジンから手のひらにのる小さなものまで、あらゆる工業製品の「木型」を製作します。

- 住所／川崎市川崎区浅野町 1-10
- 電話／044-355-9955
- ファックス／044-355-9988
- 営業時間／午前8時～午後5時
- 休み／第1・第3土曜、日曜、祝日